

補完医療外来

1. スタッフ

外来医長(兼)准教授 大野 智

その他、教授 1 名、准教授 2 名、助教 1 名、研究員 5 名、事務補佐員 1 名 (寄附講座、特任を含む)

2. 診療内容

近年の医療・医学の進歩に伴い、疾病構造は急性疾患から慢性疾患へと変化し、生活環境の整備と相まって、我々はまさに高齢社会を迎えようとしている。がんを始めとする糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満などの生活習慣病が疾患の大半を占めており、その結果として、医療費の高騰や国民皆保険制度の破綻など重要な問題が論議されている。一方、患者サイドでは情報の普及により、予防医学や自己健康管理への関心度が増し、さらに治療選択時の自己決定意識の向上がみられ、患者は生活の質 (QOL) を重視した医療を求めている。

こうした中で、現行の医療に何かを上乗せして、QOL の向上を図る補完医療が注目されている。米国 NIH に創設された国立補完代替医療センター (NCCAM) [2014 年(平成 26 年)に国立補完統合衛生センター(NCCIH)に改称] によれば、補完医療とは「通常の医療の領域外の治療法でまだ科学的にその効果が証明されていないもの」と定義されている。

当専門外来を主に構成している統合医療学寄附講座では、臨床試験を実施し一つ一つエビデンスを築き上げることにより、現行の医療の中での位置付けを確立し、全人的な統合医療を目指している。また全国に先駆けて開設された補完医療外来部門では、近代西洋医学と伝統医学を革新的な次元で統合した新医学を切り開くべく患者本位の全人的アプローチを主眼とした診療を展開している。

3. 診療体制

現在、外来・入院患者を対象に補完医療に関する、①相談の窓口(自由診療)、②臨床試験の窓口として運用している。

外来は総合診療外来 2 診において月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の午後を実施し、完全予約制としている。

	月	火	木	金
総合診療外来 2 診 (午後)				
臨床試験	大野 安枝	大野 坂本 安枝	大野 坂本 安枝	坂本
相談	大野	大野	大野	休診

また病棟運営は行っていないが、入院中の患者も外来患者と同様に、補完医療に関する相談並びに臨床試験を希望する方が対象となる。

4. 診療実績

平成 29 年度の診療実績を表 1 に示す。相談に関する外来受診者は計 3 名であり、臨床試験での受診者は延べ 80 名であった。

5. その他

(1) 倫理委員会からの承認を受け、実施中の臨床試験

- 担子菌培養抽出物 AHCC(Active Hexose Correlated Compound)による、がん化学療法有害事象軽減に関する第Ⅲ相臨床試験

対象：乳がんに罹患し、本院にて化学療法加療中の方

- 生活習慣病型癌患者に対する補完医療を取り入れた統合的なライフスタイル介入の検討

対象：本院で治療中の患者のみ

- 頭頸部癌患者の放射線療法後の口腔乾燥症状に対する鍼治療の効果の検討

対象：本院で治療中の患者のみ

- 生体腎移植ドナーにおける移植前後の統合的なライフスタイル介入研究

対象：2 年以内に生体腎移植を行う予定のドナーであり BMI25 以上の方

- 生体腎移植レシピエントにおける移植前後の統合的なライフスタイル介入研究

対象：2 年以内に生体腎移植を行う予定のレシピエ

ントであり BMI25 以上の方

(2) 学会認定の指導医、専門医など

○日本内科学会：総合内科専門医

○日本循環器学会：専門医

○日本抗加齢医学会：指導士

○管理栄養士

○日本アロマセラピー学会：認定アロマアドバイザーなど

【表1】

臨床試験	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
鍼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄養相談	4	5	3	6	6	5	8	4	7	3	7	13	71
慢性疼痛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サプリメント	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	6
合計	5	6	3	8	7	6	9	5	7	3	8	13	80